

令和2年度 明正小学校 自己評価報告書

学校名：中央区立明正小学校

所在地：中央区新川2-13-4

校長名：佐藤 興二

児童数 349名

学級数 13

通級指導学級 3

教員数 25名

職員数 4名

1 重点目標の達成状況及び取組状況

(1) 重点目標1「コミュニケーション力を育む教育活動」

〈教員の自己評価〉

児童は状況に応じたあいさつをしているか



・児童は異学年交流やボランティア活動等を通して、明正小学校の児童と交流しているか



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■よくあてはまる ■あてはまる ■ややあてはまらない ■あてはまらない ■分からない

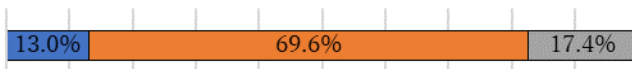
「あいさつ」については、保護者・児童アンケートでは90%以上の肯定的な評価をいただいたものの、教員では50%近くが否定的な評価であり、課題が見られました。児童に自分からすすんであいさつしてほしいという教師の願いから上記の結果が表れているものと考えられます。学校全体の課題として取り組んだ結果、学年末には徐々に改善してきた様子が見られましたので、今後も継続して指導していくよう努めてまいります。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、密接な交流活動を十分に行うことができませんでした。互いにコミュニケーションをとる機会が少なくなってしまうことで、児童の「明正小学校の一員であるという自覚」が多少薄れてしまった可能性があります。縦割り班活動等のできることを工夫して取り組むことによって、再び自覚を高められるよう努力してまいります。

(2) 重点目標2「最後までやり遂げる力（実行完結力）を育む教育活動」

〈教員の自己評価〉

・児童は、体育朝会や明正スポーツの会等の取組を通して、自己目標に対して粘り強くやり通そうとしていたか。



・児童は、明正スポーツの会や展覧会等の学校行事に一生懸命取り組み、達成感を味わうことができたか。



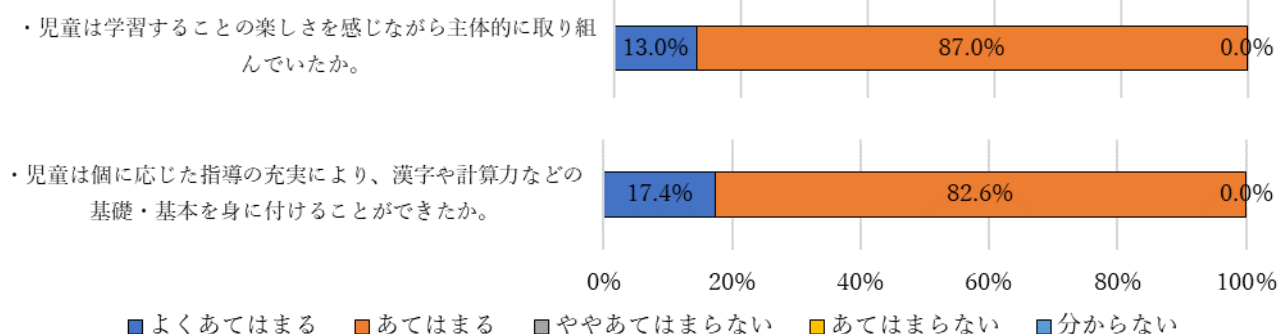
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■よくあてはまる ■あてはまる ■ややあてはまらない ■あてはまらない ■分からない

体育朝会や明正スポーツの会等の取組を通して、粘り強くやり通す力を育むことについて、教員の肯定的な評価は90%を下回ったものの、今年度の限られた活動内容からするとおおむね良好な状況と言えます。学校行事に至っては肯定的な評価が100%でした。制約の多い中、工夫を重ねて取り組んだことで、児童も教師も達成感と満足感を得られたものと考えます。

令和3年度もまだまだ新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応を迫られることが予想されます。工夫してできることに最大限取り組むという姿勢で臨んでまいります。

重点目標３ 「物事を捉える視点や考え方（見方・考え方）を身につけさせる教育活動」 〈教員の自己評価〉



教員の自己評価について、「よくあてはまる」「あてはまる」との回答が100%であり、達成状況は良好と言えます。しかしながら保護者アンケートでは、89%の肯定的な評価をいただいたものの、「主体的に取り組んでいたか」という項目については8%程度「ややあてはまらない」との評価がありました。

校内研究を通して、児童が主体的に考えを深め、表現する授業を目指して取り組んでまいりました。また、習熟度別少人数授業（第2学年以上の算数において実施）、夏休み学習教室や明正タイム等の取組を通して、個に応じた基礎的・基本的な学力の定着を図ってまいりました。今後も継続して取り組んでまいります。

2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

重点目標以外では保護者アンケートにおいて19項目中11項目で90%以上の肯定的な評価をいただきました。残り8項目中、地域やフランス学園との交流、奉仕活動のように実施できなかった活動を含む項目については、評価しがたいものと考えられます。また、今年度は学校公開の機会がわずかしかなかった、児童の学校での様子を十分にお伝えできなかったことも原因の一つと考えます。

一方で、「児童の悩み、トラブルなどへの対応」について「ややあてはまらない」「あてはまらない」の回答が11%にも上ってしまったことについては、課題として真摯に受け止めています。全教職員で認識し、保護者や地域の方々、関係機関等と連携・協力しながら児童の健全育成に努めてまいります。

3 今後の改善方策

○コミュニケーション力を育むために

- ・代表委員会による取り組みなどを通して、あいさつや言葉づかいの指導を充実させ、人権尊重の精神を涵養してまいります。
- ・各教科等の学習において話し合い活動を充実させることで、自分の思いや考えを表現するとともに、相手の考えを聞き、認める力を育成してまいります。
- ・縦割り班活動等の異年齢交流や、限定された条件下でも工夫して、親子協議会等による地域の方との交流活動を実施していく中で、明正小学校の一員としての自覚を高められるようにいたします。

○最後までやり遂げる力（実行完結力）を育むために

- ・体育朝会や縄跳び、ペースランニングに関心・意欲をもって取り組ませ、粘り強くやり通す心と

体を育てまいります。

- ・運動会、学芸会等の行事を通して、仲間と協力して物事をやり遂げる力の育成を図ってまいります。

○物事を捉える視点や考え方（見方・考え方）を身につけさせるために

- ・児童が主体的に課題追究に取り組み、思考を深め、より深い学びにつながるような授業改善を行います。
- ・学力調査等を基に児童の学習状況を的確に把握するとともに、習熟度別少人数指導等を通じた個に応じたきめ細かい指導を実施し、基礎的・基本的な学力の定着を図ってまいります。

○家庭・地域との連携を密にするために

- ・地域の教育力を積極的に活用し、また工夫していくことで、児童にとって地域の良さを実感できる教育活動を推進してまいります。
- ・学校公開、学校ホームページ、学校便り等を活用し、積極的に本校の教育活動を発信してまいります。